

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分!)



世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.35》2016年1月発行

新年特別号

2016

バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>



海外大分県関係の皆さまへ新春のご挨拶



企画振興部長
廣瀬 祐宏
(Yuhiro HIROSE)



新年明けましておめでとうございます。

昨年10月には、今後10年の県政運営の道しるべとなる、新しい大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」ができました。今後は、この計画に基づく21政策60施策の推進に取り組み、県民とともに築く「安心」「活力」「発展」の大分県を目指してまいります。

その中で、当面の課題は地方創生です。人口減少に歯止めをかけ、大分県が元気を取り戻すようにするため、「地方創生は大分県から」という気持ちを持って取り組んでまいります。

昨年4月にオープンした大分県立美術館(OPAM)も開館7ヶ月で入館者50万人を突破したほか、20年ぶりとなる2018年国民文化祭の大分県開催も決定しました。また、2019年ラグビーワールドカップ日本大会の開催地として、「おんせん県おおいた 叟味力も満載」の取り組みと併せ、国内外に大分県の魅力を積極的にPRしてまいります。

世界でご活躍の皆さま方には、故郷大分県の発展のため、一層のご協力と温かいお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとってよりよい年でありませう、心よりお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

大分県の地方創生人口ビジョン

	現状のままでの見通し	地方創生の取組による人口ビジョン
2015年	116.9万人	116.9万人
2040年	95.5万人	103.6万人
2060年	76.1万人	96.1万人
2100年	44.2万人	96.0万人

注目記事① 台中市との観光友好交流連携協定締結

台湾の中部観光の拠点となる台湾第3の都市である台中市の観光旅遊局と大分県企画振興部の間で11/27(金)に「日本大分県と台湾台中市観光友好交流連携に関する協定」を締結しました。

協定締結は、台中市との強い絆を作り、単に観光交流の進展のみならず、台中からの国際航空便の定期就航やそれによる同地域からの観光客の増加など、本県観光振興に資するものとなります。

今後、協定に基づき、観光情報の共有や送客の促進、観光事業や交流イベントへの積極的な参加、観光ウェブサイト等での相互の観光宣伝など、本県及び台中市の観光産業の一層の発展に向けて、相互理解と親善を深めていきます。

〔観光・地域振興課〕



注目記事② 国際理解講座～イギリスおもしろいものめぐり～

おおいた国際交流プラザでは、「多文化共生の地域づくり」の一環として、県民の皆さんに様々な国とその歴史や文化を紹介することにより、国際理解を深めることを目的に毎年「国際理解講座」を開催しています。

今年度2回目の国際理解講座は12月5日(土)英国編として、大分県国際交流員のミアム・スターリングさんを講師に迎え、「イギリスおもしろいものめぐり」をiichiko総合文化センターにおいて開催しました。

イギリスではさきにラグビーワールドカップが開催され、日本チームの大活躍に日本中が湧いたこともあってか、イギリスに対する県民の皆さんの興味もひときわだったようで、講演の間、ミアムさんの軽快なトークに参加者は終始笑顔。

イギリスに関する“トリア(雑学)”も織り交ぜながら、知っているようで知らないイギリスの文化やラグビーなどのスポーツ、今流行っている音楽や映画、また、イギリスで見られる日本の文化(猫バブ、マンガ、演劇など)について幅広く紹介をしていただきました。

[おおいた国際交流プラザ]



海外大分県人会交流掲示板



韓国大分県人会

韓国大分県人会幹事の小篠様より忘年会の様子をご報告いただきました。

「今回は、女性7名、男性5名、日韓バランスよく、世代も幅広く参加を頂戴しました。アットホームな笑笑にて、美味しいお酒とお料理、切れのいいジョーク、そしてなにより皆様の笑顔が溢れる忘年会になったと思います。」

韓国大分県人会では、早速「新年会」をご予定とのこと。「大分県」という繋がり、世代を超えて多くの人が集まって頂いていることに感謝いたします。



ロサンゼルス大分県人会

9月にSouthern CaliforniaのCosta Mesa市において、県人会のメンバーの小林ひとみさんが、Scott Yamauchiさんと結婚式を挙げられました。元会長の後藤氏と、私の家内共々出席してまいりました。

12月18日、ロサンゼルス空港から南に車で約10分ほどのGardena市で、宇佐の唐揚げ店『天下取り』様のアメリカ第一号店のOpening Ceremonyがありました。テープカットには、ロサンゼルス総領事の堀之内様もお出でになり、『天下取り』に店舗を提供しているマルカイ・コーポレーションの岡田さんと『天下取り』オーナー共々、會田も大分県人会会長として、参加致しました。

益々繁栄され、2店舗、3店舗と展開されんことをお祈り致します。

ロサンゼルス大分県人会
会長 會田 裕二様より



2015年の県政10大ニュース



(県広報広聴課ホームページ) <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10400/jyudainews.html>

1

地方創生に向けた取組がスタート～ステップアップおおいたへの挑戦～

- ・県・市町村において「人口ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定
- ・新長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」策定
- ・「行財政改革アクションプラン」策定
- ・「女性が輝くおおいた推進会議」立ち上げ、「おおいた輝く女性ネット」や「おおいたAFF女性ネットワーク」による女性リーダーの交流と育成の支援
- ・第4期広瀬県政スタート。県内6市で市長選挙が実施され4人の新市長誕生

2

東九州自動車道県内全線開通～九州の東の玄関口としての発展を支える基盤づくり～

- ・中九州横断道路、中津日田道路など進む広域道路ネットワーク整備
- ・大分港の国際貿易港開港50周年
- ・大分港と清水港間でRORO船の新規航路開設決定

3

県立美術館開館～開館7ヵ月で入館者50万人突破(11月13日)～

- ・長谷川等伯の国宝「松林図屏風」を九州初公開(6月9日から21日まで)
- ・グスタフ・クリムトの「ヌーダ・ヴェリタス」を九州初公開
- ・リーディング・カルチャー・デスティネーションズ・アワーズ2015で最優秀新設文化施設に選定

4

おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン開催～進む大分ブランドづくり～

- ・大分駅ビルも開業し、中心市街地活性化に相乗効果を発揮
- ・台湾チャーター便の新規就航
- ・ミラノ国際博覧会において大分の魅力をアピール
- ・新作CM「シンフロ」がYouTubeアクセス100万回を突破

5

結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の充実

- ・若者の出会い・結婚を応援する「OITAえんむす部」好評
- ・特定不妊治療助成を大幅拡充
- ・子育て支援サービスに使える「おおいた子育てほっとクーポン」を全市町村で配布
- ・情緒障害児短期治療施設「愛育学園はばたき」が開設

6

全国学力調査・体力調査ともに小学生が九州トップを達成～進む教育改革～

- ・学力九州1位(小学校6年生) 体力九州1位(小学校5年生男子・女子)
- ・新県立屋内スポーツ施設の設計着手
- ・埋蔵文化財センターの移転整備決定
- ・新教育委員会制度へ移行(総合教育会議の開催、大分県教育大綱の策定)

7

創出額2,250億円に向け始動～進む農林水産業の構造改革～

- ・新規就業者が過去最高の371人
- ・農業参入企業200社、集落営農法人200組織達成
- ・林業素材生産量100万^m突破
- ・養殖ヒラマサの本格出荷始まる
- ・農林水産物の輸出額が15億円で急増(前年比1.5倍)

8

‘スタートアップ1500’始まる～中小企業の新たな活力創造～

- ・平成27年から3年間で創業実現1500件
- ・地域牽引企業3社を認定
- ・県内全市町村で総額129億円のプレミアム商品券を発行

9

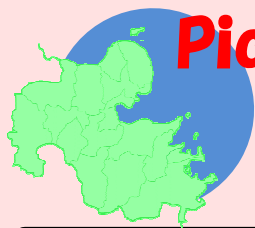
「ラグビーワールドカップ2019」の大分開催決定～芸術・文化、スポーツの進展～

- ・ラグビーワールドカップイングランド大会大規模視察団訪英
- ・20年ぶりとなる平成30年国民文化祭大分県開催内定
- ・日田市国史跡咸宜園跡、広瀬淡窓旧宅及び墓を含む近世日本の教育遺産群が日本遺産認定

10

大規模防災訓練の集中実施～進む県民の安全・安心～

- ・県民防災アクションデー、原子力総合防災訓練、石油コンビナート防災対応訓練、緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練、総合防災図上訓練の実施
- ・「大分県地域強靱化計画」の策定
- ・土砂災害防止に向けた土砂災害警戒区域の指定も加速



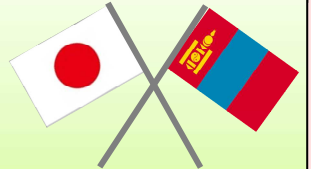
Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事(12月)

News

【12月3日(木)】 大相撲別府場所にてモンゴル文化紹介

12月2日、別府市のビーコンプラザで「大相撲別府場所」が開催され、迫力ある取り組みが繰り広げられました。会場のエントランスには、横綱白鵬、日馬富士らの故郷モンゴルを紹介するコーナーが設けられ、APUのモンゴル人留学生が伝統衣装や羊の骨を使った占いなどを紹介しました。また、白鵬関に国東市産の七島イで作った雪駄をプレゼントするなど、別府場所を機に様々な交流が行われました。



News

【12月15日(火)】 豊後二見ヶ浦、大しめ縄を張り替え

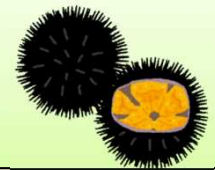
初日の出の名所として知られる佐伯市上浦の「豊後二見ヶ浦」で、雄岩と雌岩にかかる大しめ縄の張り替え作業が行われました。大しめ縄の長さは65メートル、重さ2トン、直径は最大75センチメートルにもなります。当日の張り替え作業には500人が参加。田んぼがない上浦地区では荻町内から材料のわらを調達しており、大しめ縄の張り替えの日には、荻町の子供たちが上浦を訪れて、餅つきを楽しむことが恒例となっているそうです。



News

【12月17日(木)】 むらおこし特産品コンテスト全国2位!

全国商工会連合会が主催する「むらおこし特産品コンテスト」で、佐伯市蒲江の「グランプリマヴェーラ」が製造するウニしょうゆ「ウニゴールド」が全国2位に選ばれました。使用するウニはすべて蒲江産。若者や首都圏でも売れる商品を!と、市あまべ商工会などの協力で開発し、刺身や冷や奴、パスタやチャーハンの仕上げなどにも使えるそうです。道の駅等での販売の他、同社のHP (<http://www.granprimavera.com>)からも購入できます。



News

【12月21日(月)】

湯布院「山城屋」九州未来アワード

九州経済や地域に貢献する独創的・革新的な事業者をたたえる「第2回九州未来アワード」の「国際事業・インバウンド観光部門」にて、湯布院の「山城屋」二宮謙児代表取締役役に審査員特別奨励賞が贈られました。家族で営む小規模旅館でありながら、多言語のホームページによる丁寧な説明が受け、世界最大の旅行口コミサイト九州・沖縄部門でランキング1位を獲得。小規模旅館の新たな形成スタイルを発信しています。



【お知らせ】

「おんせん県おおいた」PR番組をタイで放送!

大分朝日放送制作の番組「HOT&COOL Oh! TA」が、タイで放送されます。県内の名所はもちろん、その地で活躍する魅力的な人々にも焦点をあて、大分の素晴らしさを伝えます。また、昨年APUを卒業し現在タイで活躍中のマルチタレント PIMTHA さんも出演します。タイ在住の皆さん、是非ご覧ください!



大分朝日放送 橋本英子

News

【12月29日(火)】

伊勢志摩サミットのロゴ決定

5月に伊勢志摩にて開催される主要国首脳会議(G7伊勢志摩サミット)のロゴマークに、大分県立鶴崎工業高校3年の宇都宮志歩さんの作品が選出されました。中央の日の丸を模した赤い丸を取り囲むように参加7カ国を表現した7枚の桜の花と伊勢志摩の青い海をデザインしたものです。ロゴマークは、全国の小中高校と特別支援学校の学生を対象に公募し、有識者選考会が6点に絞ったものの中から安倍晋三首相が最優秀賞を選びました。28日に官邸で行われた表彰式では安倍首相から宇都宮さんへ表彰状が送られました。

【タイ】Thai PBS (5週連続放送)

1月16日~2月13日 毎週土曜日 17:30から

*タイ放送回を大分でも放送します

【大分】OAB大分朝日放送 (5週連続放送)

1月16日~2月13日 毎週土曜日 あさ6:35から

<https://www.oab.co.jp/onpara/>

※国際政策課にて新聞等を元に作成

From our Reporters



県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。

 <p>ミアム・スターリング (Miriam Starling) 県国際交流員 英国 pu101503@pref.oita.jp</p>	<p>11月の終わりが、エリーという大学時代の友達が、また大分に訪れました。杵築市で着物を着たり、大分駅周辺の美味しいレストランで食事をしたりしました。一番印象に残ったのは九州オルレの奥豊後コースのハイキング体験でした。JR朝地駅から、JR豊後竹田駅までの散歩コースで、きれいな景色や有名な歴史的場所を見ながら歩くのは非常に楽しかったです。普光寺の仏像や、岡城跡の紅葉など、色々楽しめました。優しいガイドさんにも顔を合わせ、案内してもらいました。一緒に同じコースを歩いた人々もすごくフレンドリーで、話しかけました。豊後竹田に着いたら、竹灯籠の明かりも見えました。散歩が苦手な方にも、ハイキングが大好きな方にも、このコースを薦めます！次回は、別府のオルレコースを散策してみたいと思います！</p>	
 <p>李 晓雪 (Li Xiaoxue) 県国際交流員 中国 pu101501@pref.oita.jp</p>	<p>先週の土曜日、仕事のためにもう一度、由布院へ行きました。この前に行ったのは夏だったのですが、今度は季節が冬に変わって、たいへんうれしかったです。というのは、由布院温泉にある金鱗湖は朝靄がかかる風景が非常に幻想的みたいなのですが、それが冬の寒い日にしか見られない風景ということなのです。 湯布院といえば、誰でも知っている有名な温泉街で、レトロな雰囲気と雑貨屋が人気の観光スポットです。可愛い雑貨がたくさんあるので女の子はすごく楽しめながらゆっくり街歩きを満喫できると思います。</p>	
 <p>金 眞雅 (Kin Jina) 県国際交流員 韓国 pu101502@pref.oita.jp</p>	<p>大分県教育委員会と韓国の忠清南道教育庁は1997年以来教育・文化・スポーツにおける高校生交流事業を実施しています。今年は忠清南道の忠南芸術高校が3泊4日の日程で、大分県立緑丘芸術高校を訪問しました。 緑丘高校で行われた交流会では韓国の高校生が綺麗な伝統衣装を着て韓国の伝統音楽と伝統舞踊を披露しました。一方、西洋音楽を専攻している日本の高校生は合唱やオーケストラなどを披露しました。両方ともとても素晴らしい公演で、私も、見ていて感動しました。 また、公演だけではなく、ホームステイをしながら日本の家庭を体験したり、大分市立美術館や別府の地獄めぐりなどを観光するなど、交流はもちろん大分を満喫して帰りました。</p>	
 <p>シェリダン・ミキシック (Sheridan McKisick) 県国際交流員 米国 pu1014001@pref.oita.jp</p>	<p>冬は日が短くなり夜が長くなって、以前より活動的な生活を送るのは大変になりました。そこで、大分市内の大洲総合運動公園のジムに行きました。運動を思うと気が重いですが、健康のためには運動が必要です。普通は、女性の方はトレッドミルやエクササイズバイクだけを使うけど、私はウエイトトレーニングの装置も使います。目標は体重の減少ではなく健康です。 日本のジムとアメリカのジムの違いを考えると、一番大きい違いは靴です。ジムだけで履く新しい靴を買わなくてはいけません。新しい靴はちょっと高かったから、絶対に、継続して一生懸命ジムにかよおうことにします。春が来るころには、体が元気なっているでしょう。</p>	



なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

【由布市／国東市】



(由布市)
「旧日野医院」
約120年前に建てられた
洋風建築



(由布市)
「冬の由布岳」
由布市のランドマーク
冬の景観も美しい



(国東市)
「安国寺集落遺跡公園
-養生の里」
遊びながら古代の文化や暮らしを
学ぶ体験型の史跡公園



(国東市)
「梅園の里・天球館」
天球儀をつくった三浦梅園に
ちなんだ天体観測施設



話題提供のお願い！

県人会の活動（懇親会等）や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！（様式は任意です）

【記事提供先／お問い合わせ先】
国際政策課 担当：平山（ひらやま）
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp

